

ふるさと
よもぎま
「加茂の百年企業」
その5



嶽鉛山掛手和（村松町三松屋文書）に、安政6年から万延元年にかけて、鉛買人として加茂町倉間屋治平の名がありました。青海神社の社人喜内の分家で治平として商売をしてこられた様です。本町の市川庄屋様の蔵の間をお借りして商売していたので倉間屋治平と名乗っていたのかと思います。後日「ジヘサ」と皆様に声をかけられました。

私達の商売は地域の人達とのつながりが深く、子供の誕生、子供の結婚、人生最後のおわかれ、法事、季節の変わり目、お祭りや歳事がある度に、お客様と御準備

有本治平呉服店
有本 賢一

のお支度のお手伝いをさせて頂いた長い付き合いをさせて頂いて来ました。

お客様と密接な関係により、沢山の勉強もさせて頂くと共に心の豊かさ、日本の仕来り等学ぶ事も沢山あり、感謝して居ります。

この「立派なきもの文化」をどう残すのかと、これからの課題と思っています。

着物を着て頂くと小さい子供から大人の方まで心が豊かに貴品に満ちステキになら



昭和50年代頃の店舗

満足させてもらっています。これからお客様ときものの良さを見付け出し、「きもの文化」を大切にして行きたいと願っています。古いきものも利用できます。現代に活かして「きもの文化」を考えたいと思います。



現在の店舗

有本治平呉服店 / 加茂市本町3-13 TEL:0256(52)1276



市内事業所の
個性豊かな社長さんや
店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。
いつかあなたにも繋がるかも？

いいともバトン：No.36 登場の浦井 陽さん ➡ 小柳千春さん



左 / 小柳千春さん(42歳) 右 / 下田逅絆さん(42歳)

いいとも No.37

「パラダイスカフェ」店主 小柳千春さんの「ともものわ」は「下田書道会」の下田逅絆さんです。同じ小学校で子供時代を過ごしたお二人ですが交流が始まったのは20歳を過ぎた頃、友人を介して再会したのがきっかけだそうです。下田さんがお客さんとして店を訪れたり、市内のイベントの仕事で一緒になることもあるとか。お互いの印象を聞くと、どちらからも「優しい」という答えが！柔らかい雰囲気、似た者同士という感じでしょうか…。ピノキオさんやパーラー高原さんでの思い出など同級生トークで盛り上がる仲の良いお二人です。

地元で念願のカフェを開いた小柳さんは今年で14年目。加茂を代表するカフェになりました。一方の下田さんは20歳から市内外の書道教室で指導を続けています。様々な年代の方から親しまれる教室には親子二代で通う生徒さんもうらっしゃるそうです。加茂が大好きというお二人…これからも、このまちを盛り上げていってください！